

館長だより第17号(2020/4)

新型コロナウイルスの世界的な流行がいよいよ危機的状況になりつつあります。人の集まるところはできるだけ避け、マスクの着用、また不要不急の外出も可能な限り避けることや、外出から帰ったら手洗い、うがいの励行など、日常生活にもその影響が強くなっております。毎日のニュースはコロナが大半を占め、オリンピック・パラリンピックの延期も現実化しつつある今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか？

紀伊風土記の丘では、新型コロナウイルス対策のため、3月31日までに予定されていた全ての催しを中止いたしました。この間予定されていた講座や体験学習を楽しみにされていた方々にはまことに申し訳なく存じます。

連日の新型コロナウイルスによる休学や自宅待機によってストレスの蓄積も行くばかりかと察します。この状況下で紀伊風土記の丘では、来園者の数が普段の同じ期間に比較してかなり多く、日によっては数倍という状況も見受けられます。気候が良く、青空の元散歩する家族やグループの方々の姿には、ある意味ほっとする一瞬の安堵感さえ感じることができます。

3月21日から5月10日までの予定で、紀伊風土記の丘資料館では春期企画展「埴輪と須恵器」が開催されています。この展示は古墳時代の焼き物である須恵器と埴輪に焦点を当て、その生産地である窯と消費地である古墳出土品の製作技法などから紀伊地域の社会の変化を読み解いていこうとするものです。主たる展示品には、和歌山市楠見遺跡出土の須恵器(器台、異形台付鉢、高杯、はそう他)、みなべ町片山遺跡出土須恵器大甕、和歌山市秋月遺跡出土須恵器大甕、大阪府岬町西小山古墳出土埴輪(円筒、蓋)、西陵古墳出土埴輪(円筒、ひれ付き円筒、朝顔形、家形)、和歌山市吉礼砂羅谷窯跡群出土須恵器(蓋杯、高杯、壺他)埴輪(円筒他)、和歌山市平井遺跡1号埴輪窯(円筒、馬形、石見型、蓋他)、同2号窯出土埴輪(円筒、家形、馬形、鶏形、盾持人形他)、和歌山市森小手穂埴輪窯出土埴輪(円筒、家形、人物、蓋他)などの他多数です。

なお資料館入口のロビーの一面では「紀伊風土記の丘夢計画」と題したミニ展示が行われています。この展示は本館が計画を進めている和歌山県立考古民俗博物館(仮称)建設に向けたワークショップの成果品の展示です。

これらの作品は和歌山市立西和佐小学校4年生の授業で、子どもたちが地域の宝である特別史跡岩橋千塚古墳群と紀伊風土記の丘の”未来“について考え、一人一人の「夢計画」を作ってくれました。それらにはバリアフリーに関するものやミュージアムショップ販売品に至るまで様々な企画提案が盛り込まれています。とくに山登りで疲れた方向けに足湯を設置する案や、登山道路の整備計画をはじめ普段気づかないことばかりで、まさに目からうろこがという状況で、子どもたちの柔軟な発想には驚きの連続です。

なおこの展示は3月21日から4月7日までの短期間ですが、ぜひご覧いただき、忌憚のないご意見をお寄せいただければと存じます。